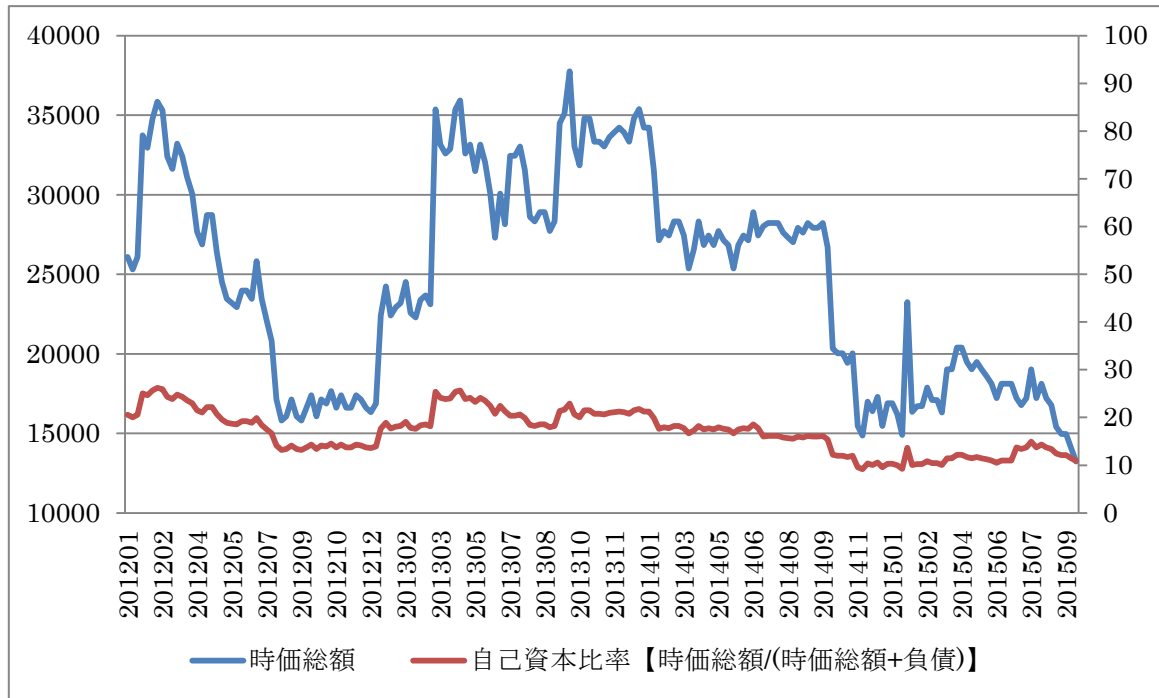


第一中央汽船（株） 倒産日 2015年9月29日
 [証券コード：9132 東証1部上場 日経36業種：海運]



【左軸:時価総額（百万円）、右軸:自己資本比率（%）】

第一中央汽船は石炭や鉄鉱石などを運ぶばら積み船を主力事業とした国内売上第5位の海運会社である。中国の資源需要拡大を背景に運航隻数を増やしてきたが、ここ数年は市況低迷などで業績が悪化し、2015年3月期まで4期連続で最終赤字になっていた。

借りた船の傭船料が資源を運んで得られる運賃を上回る逆ざやが続いており、自力再建に向け、船舶の売却などを進めてきたが、最近の中国景気の減速で一段と業績が悪化し、2015年9月29日付で東京地裁に民事再生法を申請することになった。(注1)

◆過去3カ年主要財務項目の推移

| | 2013年3月末 | 2014年3月末 | 2015年3月末 |
|-------|----------|----------|----------|
| 時価総額 | 33,147 | 26,545 | 19,033 |
| 負債 | 126,971 | 146,799 | 108,346 |
| 営業利益 | -18,370 | -6,681 | -13,190 |
| 経常利益 | -18,563 | -8,584 | -13,966 |
| 当期純利益 | -31,983 | -15,429 | -3,307 |

(単位:百万円 金融工学研究所調べ)

注1:日経電子版 2015年9月29日付



【左軸:時価総額（百万円）】

上場企業に対し、株価の変動と財務指標で信用力（DCRI）を測定する弊社製品 DEFENSE では、2012年初めの時点で当該企業を b 格で評価していた。2012年7月に bb 格まで持ち直したものの、その後は財務の悪化もあり下落し、倒産時点では b 格まで下がっていた。

なお四半期財務を用いた信用力（DCRIq）では、2015年9月に2015年6月末時点の決算を反映して ccc 格で評価していた。

◆倒産時点より遡った DEFENSE の主要項目

| | 104 週前 | 52 週前 | 26 週前 | 12 週前 | 4 週前 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| DCRI | 15.272 | 15.630 | 16.728 | 14.684 | 14.621 |
| DCR | b- | b- | ccc | b | b |
| Status | Red-2 | Red-2 | Red-2 | Red-2 | Red-2 |
| DCRIq | 15.126 | 15.661 | 14.400 | 14.696 | 14.635 |
| DCRI 業種平均 | 10.568 | 10.519 | 10.508 | 10.228 | 10.382 |
| DCRI 業種中央値 | 10.549 | 10.870 | 10.865 | 10.830 | 11.271 |

DEFENSE の Status は 6 段階（※）で表現しており、その中で Red-1、Red-2 は相対的に信用力に問題のある企業に対するシグナルとなっている。

※Green-1、Green-2、Yellow-1、Yellow-2、Red-1、Red-2

「Default Event Study（デフォルトイベントスタディ）」のお問い合わせは、下記までご連絡をお願い致します。
株式会社 金融工学研究所 Tel 03-3276-3440 FAX 03-3276-3439 URL <http://www.ftri.co.jp/>

「デフォルトイベントスタディ」の著作権は㈱金融工学研究所に帰属し、その目的を問わず、情報の全部または一部を無断で引用または複製することを禁じます。「デフォルトイベントスタディ」は、信頼に足ると判断したデータ、情報を掲載していますが、㈱金融工学研究所は、その正確性、確実性、有用性を保証するものではありません。また、㈱金融工学研究所は、「デフォルトイベントスタディ」の直接的および間接的を問わず、その使用により結果として生じた損害、損失、紛争に関して、一切補償致しません。